

中学受験

(演習用)

実戦的解法による

分野別算数 1000

ファイル No. 356

25-C 流水算

中受ゼミ G

1

A市の上流にB市がある。船で2つの市を往復するとき、上りは5時間、下りは4時間かかった。川の流れが毎時2kmのとき、A市とB市の距離は  kmである。

2

静水上で一定の同じ速さで動くボートが2台あります。一定の速さで流れる川のある地点から、1台のボートは川上に、もう一台は川下に向かって、同時に出発しました。1時間後に、川上に向かっていたボートは川下に、川下に向かっていたボートは川上に向きを変えて進み出した後、出発地点から10km川下の地点ですれちがいました。川の流れは、時速  kmです。

3

ある屋形船が川に沿って6km離れた2つの地点の間を往復します。いつも、上りは2時間、下りは1.2時間かかります。川の流れの速さがいつもの2倍になると、往復するのにかかる時間は□時間になります。ただし、屋形船の静水時の速さは一定とします。

4

流れの速さが一定の川の上流に A 地点，下流に B 地点があり，その間を姉と妹の 2 人がそれぞれ別の船で往復します。姉は 30 分かけて B 地点から A 地点まで上り，20 分で下りました。妹は 10 分かけて B 地点から A 地点まで上り， 分で下りました。ただし，2 人が乗った船の静水での速さはそれぞれ一定とします。